

# 新しい時代の学びの実現について

【担当省庁】 文部科学省

Society5.0時代の到来を見据え、POSTコロナ社会の新しい時代の学びを実現するため、以下の施策を充実していただきたい。

## 〔少人数教育や外部人材等〕

- 少人数教育によるきめ細かな指導に向けた教員加配の予算確保
- スクール・サポート・スタッフ等の外部人材について、この間の緊急措置の継続を含めた十分な予算の確保
- 少人数学級の実現に向けた標準法改正による基礎定数の改善

## 〔GIGAスクール構想〕

- 高等学校における1人1台端末の整備に向けた低所得世帯の高校生等への支援を含めた国の支援制度の創設
- ICTを活用した教育を助言・支援するICT活用教育アドバイザー等の外部人材を確保するために十分な予算の確保

## 〔産業教育設備の整備〕

- 社会情勢の変化や技術革新に対応できる人材育成に向けた専門学科の産業教育設備について、施設整備における十分な予算の確保と設備整備における支援制度の創設

## 【現状・課題等】

### ■子どものための京都式少人数教育

- ・小学校で30人程度、中学校で35人を超えない学級編制が可能な教員を配置
- ・市町において、少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を選択して実施

### ■GIGAスクール構想に係る環境整備

- ・高等学校においてもICT環境を整備し、コロナ禍等による学校休業の中でも理解や思考を深める教育や家庭学習を進める必要がある。

### ■教職員等のICT活用能力の向上

- ・より積極的にICTを活用した授業デザイン等について教員をサポートできる人材が求められている。

### ■産業教育設備の整備

- ・レーザー加工機等多数の設備が老朽化しており、設備の更新が急務である。

京 都 府 の 担 当 課	教育委員会 教職員企画課 (075-414-5789) 教職員人事課 (075-414-5799) 学校教育課 (075-414-5831) 高校教育課 (075-414-5846)
------------------	--

**【国の事業等】**

■概算要求〔文部科学省〕

〔教員の加配や外部人材等〕

- ▶ 義務教育費国庫負担金 1兆5,208億円＋事項要求  
 (令和2年度予算1兆5,221億円、補正40億円)
  - ・学校における働き方改革等のための教職員定数加配
  - ・学級編成の標準の引下げを含めた少人数によるきめ細かな指導体制の計画的な整備について、改革の基本方針2020等を踏まえ、予算編成過程で検討
- ▶ 補習等のための指導員等派遣事業 254億円  
 (令和2年度予算62億円、補正278億円)

〔GIGAスクール構想〕

- ▶ GIGAスクールサポーター配置促進事業 53億円 (令和2年度補正105億円)
- ▶ GIGAスクールにおける学びの充実 4億円 (令和2年度予算3億円)
  - ・「ICT活用教育アドバイザー」等による整備・活用推進
- ▶ オンライン学習に必要な通信費相当額の増額 (非課税世帯、+12,000円)

**【京都府の取組】**

■弾力的な「子どものための京都式少人数教育」の推進

- ・現地現場の状況に応じた判断を重視し、より一層柔軟な方法で課題に応じた教育が推進できるよう、市町(組合)教育委員会の裁量による弾力的な教員配置に改善

■府教育委員会にICT教育推進室を設置 (令和2年度)

- ・京都府の教育の情報化に係る業務を統括し、ICT教育の推進体制を強化

■府立学校スマートスクール推進事業

- ・校内高速LAN整備 (高校・特支：R2 全校)
- ・児童生徒1人1台タブレット端末整備 (附属中・特支：R2 全校)
- ・民間企業やNPO、大学等が参画する「ICT利活用官民連携プラットフォーム」を構築し、ICT利活用を先導的に進める教員を養成

■北部ものづくり人材連携育成事業

- ・課題研究実習等で必要となる基礎的・汎用的な設備を整備 (高校：R元2校)